

区 の 補 助 計 画 等 の ま と め	1 保健医療分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1) 高齢化の一層の進展と疾病構造の変化を踏まえ生活習慣病の発症や重症化を予防するため、健康診査やがん検診の受診勧奨に努めるほか、保健・栄養等に関する啓発により健康寿命の更なる延伸に取り組んでいく必要がある。</p> <p>(2) 自殺対策の一層の推進のため、全国共通の施策に加え、地域の特性に基づく施策として20代から40代の働き盛り世代や自殺未遂者への支援に取り組んでいく必要がある。</p> <p>(3) 妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援のさらなる充実が求められ、①健診実施方法、未受診者のフォロー等の検討、②相談・支援体制の拡充、③医療、福祉関係機関との連携体制構築などに取り組んでいく必要がある。</p> <p>(4) 国際化に伴い、海外との交流が活発となり、健康を脅かす様々な感染症の拡大のリスクが高まるため、海外で発生し、あるいは流行している感染症の対策が求められる。</p> <p>(5) HACCPに沿った衛生管理の制度化に向け、全ての事業者への周知と浸透、取組の定着と持続性の確保を図る必要がある。</p>	<p>【5年後】</p> <p>(1) 望ましい栄養・食生活の実践や日常的に取り組む身体活動量の増加などの普及・啓発に努め、生活習慣の改善を含めた健康づくりに取り組んでいく。</p> <p>(2) 保健、医療、福祉、教育、労働など様々な分野において、行政と関係機関、団体が連携し自殺対策を推進していく。</p> <p>(3) 子育て世代包括支援センター事業の展開による妊娠期から子育て期の①相談支援の充実、②ライフステージごとの相談支援体制、③医療、関係機関とのネットワーク構築、④母子保健事業のシステム化推進、⑤子ども家庭支援センター、児童相談所との連携体制等、整備を進めていく。</p> <p>(4) 区は国の目標である結核罹患率(人口10万対)10以下を達成するとともに、更に海外で発生した、あるいは流行している感染症について、国や都の施策に対応して、計画の見直しや予防の普及啓発、患者発生への対応を行っていく。</p> <p>(5) HACCPに沿った衛生管理について普及を進め、事業者の取組意欲を醸成し、行政による的確な外部検証の実施を進めていく。</p> <p>【10年後】</p> <p>(1) 区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むよう、行政と関係機関、団体が連携し、総合的に健康づくり施策に取り組んでいく。</p> <p>(2) 自殺死亡率・自殺者数を、平成27年度と比較して30%以上減少できるよう、行政と関係機関、団体が連携し総合的に自殺対策に取り組んでいく。</p> <p>(3) 保健・医療・福祉等の連携による妊娠期から子育て期にわたる支援体制を充実させ、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整備していく。</p> <p>(4) 国や都の施策に対応し、海外で発生した、あるいは流行している感染症に対する対応を確実に行っていく。</p> <p>(5) 全ての事業者においてHACCPに沿った衛生管理を定着させ、持続性を担保し、食中毒発生件数を抑制する等、食の安全安心を確保していく。</p>



審 議 会 ま と め	3 審議会での主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自殺対策を考えたときに、メンタルヘルスの取組、精神疾患のある方への支援が重要になるのではないか。</li> <li>○ 海外から様々な感染症が持ち込まれることが危惧されるため、地域においても感染症対策は重要である。</li> <li>○ 区内の医療連携体制(病院、クリニック、医師会等)について、長期計画に盛り込んでほしい。</li> <li>○ 課題解決の方向性の10年後について、もっと踏み込んだ内容が欲しいと思う。</li> <li>○ 子育て世代包括支援センター事業により、母子保健と子育て支援の「縦割り」の壁の解消が図られることを期待する。</li> <li>○ HACCPは食品事業者の問題ではあるが、まず区が先駆けて先進的な衛生管理や事業者への周知、浸透、取組の定着、持続性を確保し、行政による的確な外部検証体制の構築をしてはどうか。</li> <li>○ 人口増加につながるよう、若い世代に対し、妊娠期の検診費用の補助などをもう少し手厚くするべきではないか。</li> </ul>
	4 保健医療分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての区民が主体的に取り組める健康づくりの推進</li> <li>○ 地域における感染症対策の推進</li> <li>○ 関係機関と連携協力した総合的な自殺対策の推進</li> <li>○ 安心して適時適切な医療が受けられる地域医療体制の充実</li> <li>○ 妊娠期から子育て期まで誰もが安心して妊娠、出産、子育てができる環境の整備</li> <li>○ 食生活の多様化に対応できる食の安全安心の確保</li> </ul>